



徳川将軍家の遺跡を探る

おちゃや
「御茶屋跡」の現地説明会を開催



写真データ提供可

御茶屋跡の堀跡と出土した水滴（硯に使う水を入れる容器・右上）、すり鉢（右下）

御茶屋とは、江戸時代初期に徳川将軍家が鴻巣御殿に滞在の折、周辺の鷹狩や民情視察に訪れた際の休憩所として使われた施設で、家康、秀忠、家光の3代にわたる将軍が利用したといわれています。

御茶屋は、石戸宿6丁目の子供公園の北西に位置していたと伝えられています。今回は御茶屋の範囲を確認するため、発掘調査を実施しました。その結果、御茶屋の一部を区画する堀跡などを確認しましたので、その成果について、主に地元住民に向けた現地説明会を行います。

日時

2月21日(土) 雨天中止

第1回 10:30～ 第2回 13:30～ 【申込不要・当日現地集合】

場所

お茶屋遺跡内容確認調査現場（北本市石戸宿6丁目地内 ※地図参照）

アクセス：北本市子供公園から徒歩5分。詳細はお問い合わせください。

内容

文化財保護課職員による解説と御茶屋跡の堀跡等の見学、
出土遺物の展示



現場の詳細な地図等はこちら▲

担当者コメント

御茶屋は全国で約 100 か所が設けられたといわれていますが、完全な形で残されている遺跡はわずかです。今回は北本市に残る古絵図から、御茶屋の範囲を推定した調査となりましたが、絵図のとおり遺構が確認され、「御茶屋」が良好な状態で残されていることがわかりました。

